

# Y I A 会員だより 2019年8月号

発行 ; 吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)

第176号 ホームページ URL <http://www.tcu.or.jp/kamojima/yia/>



## 【8月～9月の活動予定他】

<ベトナム民族舞踊公演>8月4日(日)13:00～  
主催 吉野川市文化協会、協力 YIA

<阿波踊り> 8月15日(木)17:00集合  
場所:文化研修センター 参加費500円(子供無料)  
(詳細は、同封の案内パンフレットをご覧ください)

### ◆多文化共生 ～ハワイの現状から学ぶ～多文化共生とは、「多くの文化が共に生きていく」こと

横山美津子

7月6日(土)吉野川市文化研修センターで徳島県国際交流員のダラリン・イーさんの講演がありました。



ハワイは日本人がとても興味を持っている観光地なので、県内各地から50名もの参加者がありました。

ダラリンさんはハワイ出身で、観光では分からないハワイの生活や習慣、多言語の取り組み多文化共生を成功させるポイントなどを教えていただきました。講演の後の質疑応答の時間にもたくさんの質問があり、あっという間に時間が過ぎてしまいました。YIA主催ということで、日本語だけでなく英語を交えながらの説明もあり、改めて多文化共生について楽しく学ぶことができました。

コーヒードリンクもあり、とても和やかな雰囲気なので次回の講演会が楽しみです。

皆様も是非ご参加ください。



### ◆日本語弁論大会に日本語教室の受講生が参加 三原敦子

7月21日(日)、あわぎんホールで「外国人による徳島県日本語弁論大会」があり、日本語教室からチャン ティ ビッグ リエウさん(阿波市在住、農業会社勤務)とブイ ティ ハーさん(阿波市在住、縫製工場勤務)の二人が発表しました。



リエウさんは、学習してきた日本語と阿波弁の違いに戸惑ったことをユーモアたっぷりに発表。「あかん」「しらん」「わからん」と言うと、会場が大爆笑でした。ハーさんは息子(ハーさんの兄)を亡くした辛さに耐えて日本で働くハーさんを見守る母、そして彼女も母がとても大切であることを切々と語りました。後の講評で「ハーさんの発表中、涙が止まらなかった」とあり、私もまた涙してしまいました。

日本語を学ぶ機会の多い留学生に混じり、仕事をしながら限られた時間の中で、これだけのすばらしい発表ができたことは、どれほどの努力をしたのだろうと思いました。

二人の自己紹介文の中には日本語教室での楽しさと喜びが書かれており、それを読んだ時、この教室の意義深さも痛感しました。送り出してくれた会社の

方々、教室の講師、応援している地域の人たちの思いをのせてのすばらしい発表でした。

(結果は、ハーさんが徳島県国際協会特別賞、リエウさんは努力賞でした。)



表彰をうけるハーさん



表彰をうけるリエウさん

### ◆ホームステイ受入れ報告

山下美恵・安部正美

어서 오세요! (ようこそ!)

今年も、徳島文理大学「夏期日本語・日本文化研修(大学生コース)」で、7月6・7日の1泊2日のホームステイの受け入れを実施しました。



韓国の水原科学大学2年生の、とってもかわいい女子学生を山下家に2名・安部家に1名受け入れて昼間は2家族で交流を行い、1日目は高松でたらいうどんを食べて、その後はショッピングに、2日目は佐那河内のアジサイ見物を楽しみました。

3人のうちの1名が偶然にも昨年来られた留学生の彼女で、彼の話で大いに盛り上がり、昨年写真を見たり、又 私が作った梅酒が美味しいとほめて頂き、

沢山、沢山飲んで、あっという間に一晩が終わりました。次は彼と一緒に梅酒を飲みに来ると、約束をしました。徳島の田舎ですが、好きになってもらえたかなあ・・・(\*^^\*)



私たちは、本当に楽しかったです。

### ◆鴨島小学校の国際理解授業報告

横山美津子

7月9日、3年生の3組合同のクラス(81名)の国際理解授業にインドの女性に来ていただきました。



アパルナさんは徳島大学の教授の奥さんで、12年徳島に住み、2人の子供を育てています。授業では、宗教、食

べ物、カースト制度、名所、気候、学校の休みのこと、給食についてなどの紹介がありました。最後に子



供たちは民族衣装のサリーや帽子を着せてもらったり、額にシールのかざりを張ってもらい大喜び。大いに盛り上がった授業で私も楽しませていただきました。

### ◆山川英会話教室 タマラ先生の送別パーティー

長井和秀

3年間の任期を終え7月末で退任されるタマラ先生への感謝を込めて、送別会を7月9日カラオケ Vegasで行いました。先生の優しい人柄で参加者は15人集まり、2時間30分のパーティーとなりました。



タマラ先生はアニメソングを披露し、懐メロ演歌、

洋曲などが続き、特にメンバーの一人が自前の“三線”で“涙そうそう”、“瀬戸の花嫁”を演奏し、それに合わせてみんなで合唱し盛り上がりました。タマラ先生のお礼のことは“次期ALTにも私同様親切にしてあげてください。”と結び、代表して桜間さんが先生との出会いや英会話を続けて良かったことなどお礼を述べられました。

日頃の英会話教室とは全く別の生き生きとした歌声を聞き、感心感激の一日となりました。

#### ◆タマラさんのお別れの挨拶

みなさん、ありがとうございます。

そろそろ、この日本にいる三年間は終わります。正直、三年間だけの間とは信じにくい。日本に来た前の人生はもう他人の人生のごとし。その間の記憶は夢の記憶のように薄い。



でも、アメリカに戻ります。実は意外に緊張です。これからはどうなるか何をするかも分かりません。小さなことでも、人に役に立つとかより良い社会を作る為に何かできたら、やってみたいと思います。だから諦めません。

この三年間は本当にお世話になりました。さよなら！

Tamara Solomon (原文通り)

#### ◆鴨島英会話教室のALT送別会 瀬尾規子

7月18日(木)に鴨島英会話教室でお世話になったミシェル先生とヌー先生の送別会を吉野川市文化研修センターの和室で開催しました。ポットラックパーティーで、各自が得意の料理や飲み物を持ち寄り、美味



しくいただきながら、先生方との別れを惜しましました。ミシェル先生は5年間、ヌー先生は2年間指導していただきました。お二人のご健康とアメリカでの活躍を心からお祈りいたします。

#### ◆三味線グループが老人ホーム慰問 萩森健治

YIAの三味線グループ(芸遊会)が、7月27日に石井町の老人ホーム・仁寿園を訪問し、同ホームの夏祭りで童謡や長唄などの曲を三味線演奏しました。

三味線グループは毎年夏の「阿波踊り国際交流連」の鳴り物で皆さん



おなじみだと思えます。ホームに勤務する安部理事から依頼を受け、乾師匠宅でのお稽古と合同練習など入念な準備を経て本番に臨みました。今回はALTのマークも含め7名が参加。

少し緊張しながら最初の童謡メドレー(春よ来い、など6曲)を弾くと会場の入居者は手拍子を取り一緒に歌い始めました。



「祇園小唄」「お富さん」「勸進帳」と続き、最後は定番の「阿波踊り」。師匠の「よしこの」と三味線に合わせてホームの職員と元気な方が踊りだしました。皆さんから盛大な拍手をいただいて充実した気分でホームを後にしました。

### YIA 定例活動 他

#### ◆英会話教室 ネイティブとしゃべってみましょう！

【鴨島教室】 毎週木曜日 19:00~21:00  
場所：吉野川市文化研修センター 2F

【山川教室】 毎週火曜日 19:00~21:00  
場所：山川公民館

【川島教室】 毎週水曜日 19:00~21:00  
場所：川島公民館

お問合せ先：市役所生涯学習課 ☎0883-22-2271

#### ◆日本語教室 日本語で教えています。講師募集中！

【鴨島教室】 毎週日曜日 13:30~15:30  
(初級および中級日本語講習)  
場所：吉野川市文化研修センター2F  
お問合わせ先：萩森健治 ☎0883-24-8653

ご意見・情報などをお寄せください。

広報部長 瀬尾 ☎0883-24-2762

yoshinogawa\_kouhou\_seo@yahoo.co.jp